

■工学研究科 電子・数物系専攻 電子物理工学分野

○ディプロマ・ポリシー

【博士前期課程】

電子・数物系専攻電子物理工学分野では、工学研究科のディプロマ・ポリシーのもと、以下の項目を学位授与のために身に付けるべき能力とし、これらの能力を修得した者に修士（工学）の学位を授与する。

1. 自然現象や社会現象を数理的モデルによって解明し、その結果を工学的に応用するための高度な知識と研究開発能力を持つ。
2. 物性物理・半導体物理に関する実験的・数理的解明を進め、新しいエレクトロニクス・デバイスを創製する能力を持つ。
3. 電子物理工学分野の広範な専門知識の教授と研究指導を通して基本的研究能力を備え、これに基づく諸問題の解決ができる。
4. 自ら知的資産を創造し、当該分野の新領域を開拓できる。
5. 国際的な場で、指導的な役割を果たす能力を持つ。

【博士後期課程】

電子・数物系専攻電子物理工学分野では、工学研究科のディプロマ・ポリシーのもと、以下の項目を学位授与のために身に付けるべき能力とし、これらの能力を修得した者に博士（工学）の学位を授与する。

1. 電子物理工学分野に基礎を置き、自然現象や社会現象を数理的モデルによって解明し、その結果を工学的に応用するための高度な知識と研究開発能力を備える。
2. 物性物理・半導体物理に関する実験的・数理的解明を進め、新しいエレクトロニクス・デバイスを創製する能力を備える。
3. 高度情報化社会を支えることをその基本の理念に基づく電子物理工学分野の高度な専門知識の教授と研究指導を通して、自立して研究活動を行い、その成果を総合評価する能力を持つ。
4. 新しい知識を体系化し、先導的な当該分野の新領域を創生できる能力を備える。